

## 令和7年度 たねやくきらめき表彰

令和7年度「たねやくきらめき表彰」の表彰式が令和8年2月25日、熊毛支庁で執り行われました。

この表彰は、熊毛地域のさらなる振興や地域の発展・活性化に顕著な功績があった個人や団体を、熊毛支庁長が表彰するもので、今年度は地域産業の振興やイメージアップに貢献した3個人・3団体に對して、その多大なる功績を表彰しました。

個人として表彰を受けた片板一郎さんは、令和3年から令和6年まで種子屋久花き振興会会長を務め、産地の牽引役として尽力し、高品質な生産体制の整備や出荷基準の見直しを断行し、花き農家の所得向上に大きく貢献しました。



▲左：熊毛支庁長 右：片板一郎さん

団体として表彰された屋久島町和牛振興会は、長年にわたり和牛の改良と飼養管理の向上に取り組んできました。その成果は顕著で、全国和牛登録協会による評価において、繁殖成績向上の指標となる「分娩間隔の部」で2年連続、全国上位15組合に入るという快挙を成し遂げました。

## 地元のパッションフルーツを使用したクラフトコーラ開発！



種子島高校生物生産科の生徒が、地元特産のパッションフルーツとサトウキビを使ったクラフトコーラの開発に成功しました。

クラフトコーラを作ったのは生物生産科1年生の自主研修班4人。昨年10月、農業系の学校が日ごろの取り組みを発表する日本学校農業クラブ全国大会のプロジェクト発表会を見学し刺激を受けた榎本春馬さんが新たな商品開発で地域の活性化を図ろうと有志を募り、プロジェクトを開始しました。

注目したのが特産のパッションフルーツで、それをベースにきび砂糖でクラフトコーラに挑戦しました。スパイスの配合比率が特に難しく、何度も試作を繰り返しました。今年の6月にはプロジェクト発表会の県大会があり、それまでにラベルなどのデザインや栄養成分表示の準備など進め、年内には商品化を目指します。

榎本さんらは「多くの人に味わってもらい、地元の特産物をしっかりとアピールしたい。小学生を対象としたクラフトコーラ作成の体験学習も開きたい」と、4人の挑戦はしばらく続きそうです。

